Asset Management One

運 用 報 告 書（全体版）

第５期<決算日2018年９月18日>

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年1回決算型）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年９月30日から2028年９月15日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） マネー・マーケット・マザーファンド受益証券
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債。
組入制限	当ファンド	投資信託証券および短期金融商品（短期運用の有価証券を含みます。）以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	マネー・マーケット・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年１回決算型）」は、2018年９月18日に第５期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
http://www.am-one.co.jp/

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
（設定時）2013年９月30日	10,000	－	－	14,540.58	－	－	10
１期（2014年９月16日）	11,336	0	13.4	17,302.86	19.0	96.6	78
２期（2015年９月15日）	11,825	0	4.3	19,412.75	12.2	94.4	103
３期（2016年９月15日）	10,770	0	△ 8.9	18,754.08	△ 3.4	96.4	90
４期（2017年９月15日）	12,860	0	19.4	21,546.14	14.9	97.4	432
５期（2018年９月18日）	12,814	0	△ 0.4	20,991.03	△ 2.6	96.0	883

※△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。
※参考指数は、ＪＰモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）です。
※同指数は、ＪＰモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイドの米ドル建指数をアセットマネジメントOneが円換算して指数化したものです。
※同指数は、当ファンドのベンチマークではありません。ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準（目標基準）となる指標をいい、約款または投資信託説明書（目論見書）において、その旨の記載があるものを指します。

JPMorganは、「JPMorgan EMBI Global Diversified（ＪＰモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド）」が参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan EMBI Global Diversifiedが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。JPモルガンは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否、またはJPMorgan EMBI Global Diversifiedが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。JPMorganは、JPMorgan Chase & Coならびに全世界の同社の子会社および関連会社のマーケティングネームです。
Copyright 2006 JPMorgan Chase & Co. All rights reserved.

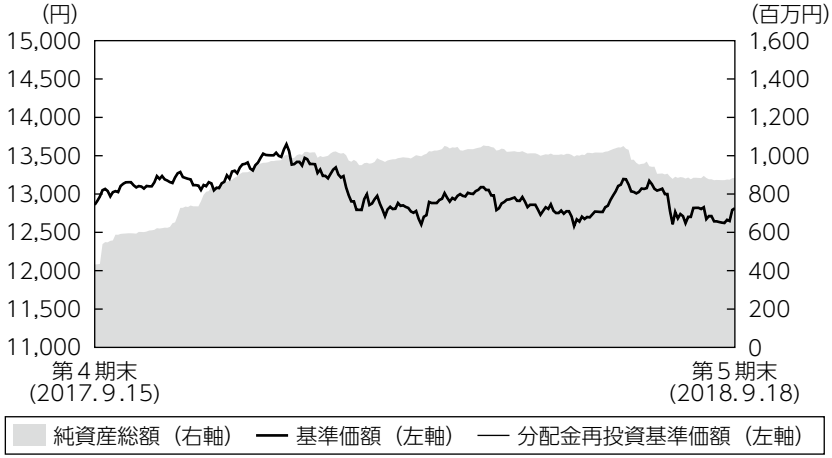
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
	円	%		%	%
（期首）2017年９月15日	12,860	－	21,546.14	－	97.4
９月末	13,025	1.3	21,808.09	1.2	97.3
10月末	13,144	2.2	22,040.31	2.3	95.4
11月末	13,158	2.3	21,792.64	1.1	97.9
12月末	13,498	5.0	22,119.94	2.7	97.5
2018年１月末	13,204	2.7	21,295.45	△1.2	96.7
２月末	12,977	0.9	20,688.46	△4.0	95.8
３月末	12,883	0.2	20,494.33	△4.9	97.8
４月末	13,089	1.8	20,796.38	△3.5	96.0
５月末	12,798	△0.5	20,548.21	△4.6	97.6
６月末	12,732	△1.0	20,502.65	△4.8	97.4
７月末	13,077	1.7	21,151.18	△1.8	96.8
８月末	12,672	△1.5	20,909.70	△3.0	96.8
（期末）2018年９月18日	12,814	△0.4	20,991.03	△2.6	96.0

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第５期首：　12,860円
第５期末：　12,814円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　△0.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンドの円建受益証券（以下、ボンド・ファンド）を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資した結果、基準価額は小幅下落しました。

【主な上昇要因】

・日米の成長率格差や米国の利上げなどを背景とした円安米ドル高

【主な下落要因】

・世界貿易に対する懸念などを背景としたエマージング債券市場の下落ならびにエマージング通貨の対円での下落

投資環境

●エマージング債券市場

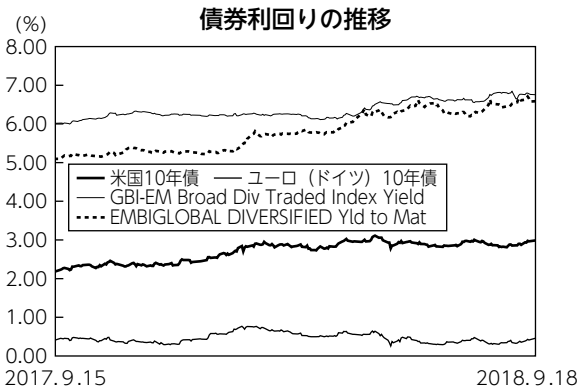
当期のエマージング債券市場は、世界貿易の行方や、トルコ、アルゼンチンなど一部の国に対する懸念がリスク回避の動きに繋がったことなどから軟調な結果となりました。期初は先進国債券市場と比較して高い利回りが享受できることなどを背景とした投資家需要が根強く底堅い推移となりましたが、2018年以降は米国の保護主義的な動きが世界貿易の先行き不透明感に繋がったことなどから軟調な動きに転じました。こうした環境の下、米国国債とエマージング債券の利回り格差を示す信用スプレッドは拡大しました。

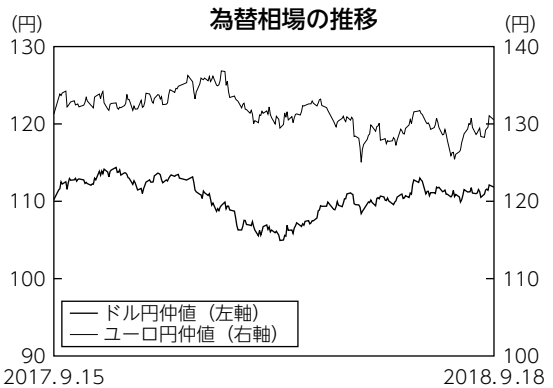
●為替市場

為替市場では、トランプ大統領の政策や世界貿易の行方などを睨みながら値動きの荒い展開となったものの、米国で堅調な景気動向などを背景に利上げが実施されたことなどから円安米ドル高となりました。エマージング通貨においては、リスク回避の動きなどを反映して対米ドルで概ね軟調となりました。とりわけ、IMF（国際通貨基金）に対して資金援助要請を行ったアルゼンチンペソや米国との関係悪化が懸念されたトルコリラなどの下落が目立ちました。

●国内短期金融市場

日銀は期を通じて金融緩和姿勢を維持する一方、市場の状況を見ながら国庫短期証券の保有残高を減少させました。こうした環境下、３ヵ月物国庫短期証券の利回りは、マイナス圏で推移しました。



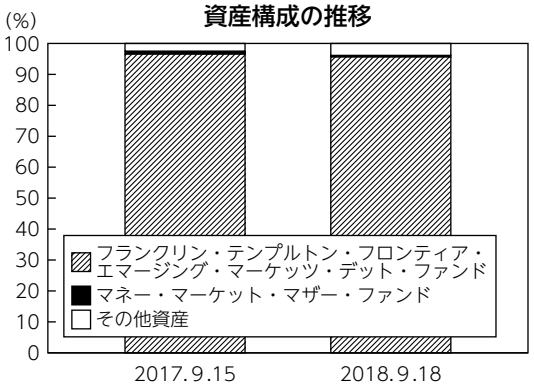


ポートフォリオについて

●当ファンド

ボンド・ファンドへの投資配分については、資金動向や市場動向等を勘案して、期を通して高位としました。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も継続しました。

※第４期末を10,000とした指数で表示しております。



※比率は、純資産総額に対する割合。

●ボンド・ファンド

新興国の政府または政府機関等が発行する債券を高位に組み入れることにより、長期的に安定した収益の確保を目指した運用を行いました。新興国の経済状況、金融政策見通しや債券市況の動向を分析してポートフォリオの構築に努めました。当期末時点におけるボンド・ファンドの平均最終利回り7.9%程度、平均直接利回り6.6%程度、デュレーション4.5年程度、通貨配分は、米ドルを中心とした先進国通貨が69%程度、エマージング通貨を28%程度としました。

※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

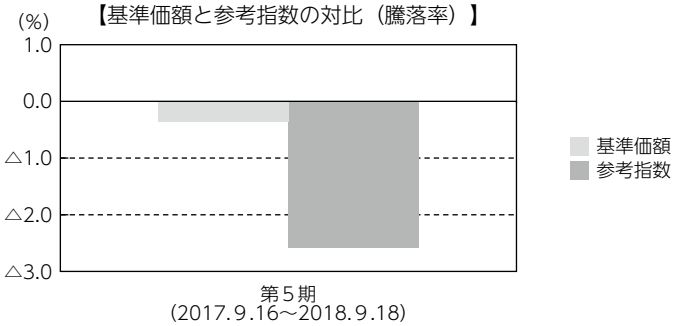
●マネー・マーケット・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指す運用方針を維持しましたが、マイナス利回りの債券については投資を見送りました。当期末時点の債券組入比率は０％となっています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましてはファンドの商品性等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第５期 2017年９月16日 ～2018年９月18日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	10,422円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市場動向等に留意し、引き続きボンド・ファンドへの投資配分を高位に維持して、新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資することにより、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指す方針です。また国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、マネー・マーケット・マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ボンド・ファンド

エマージング債券市場は、先進国経済にやや減速感が窺え新興国との成長格差が拡大し、比較的高い利回りが享受できることを背景とした投資家需要が継続すると考えられることから底堅い展開を想定しています。また、米ドル高による影響が懸念されるものの、足元でエマージング債券市場が調整し割高感が解消されたことや、過去と比較して新興国のファンダメンタルズが改善していることもエマージング債券市場を下支えすると考えています。なお、トルコに関しては大統領の動向を睨み値動きの荒い展開が見込まれますが、国内の問題と位置付けられることからエマージング債券市場全体への影響は限定的と考えています。こうした見通しの下、各国固有の状況等を考慮しながら積極的に投資機会を模索し、ポートフォリオを構築していく方針です。

●マネー・マーケット・マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○１万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年９月16日～2018年９月18日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	149円	1.143%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,021円です。
(投信会社)	(60)	(0.457)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(85)	(0.653)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.003	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	149	1.146	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

（2017年９月16日～2018年９月18日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド	口 213,500	千円 846,028	口 52,000	千円 180,814

※金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2017年９月16日～2018年９月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2018年９月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首（前期末）	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	口	口	千円	%
フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド	101,100	262,600	848,985	96.0
合計	101,100	262,600	848,985	96.0

※比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。
※金額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第２位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	490	490	499

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2018年９月18日現在）

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
投資信託受益証券	848,985	95.2
マネー・マーケット・マザーファンド	499	0.1
コール・ローン等、その他	42,140	4.7
投資信託財産総額	891,624	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年９月18日現在）

項目	当期末
(A) 資産	**891,624,300円**
コール・ローン等	42,138,676
投資信託受益証券（評価額）	848,985,800
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	499,824
(B) 負債	**7,635,104**
未払解約金	1,890,609
未払信託報酬	5,728,093
未払利息	96
その他未払費用	16,306
(C) 純資産総額(A-B)	**883,989,196**
元本	689,878,997
次期繰越損益金	194,110,199
(D) 受益権総口数	**689,878,997口**
１万口当たり基準価額(C/D)	**12,814円**

○損益の状況（2017年９月16日～2018年９月18日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**188,916,259円**
受取配当金	188,933,926
受取利息	△ 4
その他収益金	4,867
支払利息	△ 22,530
(B) 有価証券売買損益	**△193,269,340**
売買益	41,433,007
売買損	△234,702,347
(C) 信託報酬等	**△ 10,455,268**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△ 14,808,349**
(E) 前期繰越損益金	**9,401,216**
(F) 追加信託差損益金	**199,517,332**
(配当等相当額)	(512,220,790)
(売買損益相当額)	(△312,703,458)
(G) 計 (D+E+F)	**194,110,199**
(H) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金(G+H)	**194,110,199**
追加信託差損益金	199,517,332
(配当等相当額)	(512,220,786)
(売買損益相当額)	(△312,703,454)
分配準備積立金	206,821,454
繰越損益金	△212,228,587

・**信託報酬等**には、消費税相当額を含めて表示しております。
・**追加信託差損益金**とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項（運用報告書作成時点では監査未了です。）
・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額
　期首元本額　336,195,542円
　期中追加設定元本額　633,622,593円
　期中一部解約元本額　279,939,138円
・分配金の計算過程
　計算期間末における費用控除後の配当等収益（178,460,664円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に定める収益調整金（512,220,786円）及び分配準備積立金（28,360,790円）より分配対象収益は719,042,240円（１万口当たり10,422.72円）でありますが、分配を行っておりません。

○分配金のお知らせ

分配金の支払いはございません。

フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形　　態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	高いインカム利回りと長期的な元本の成長を目的として、上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債に主として投資を行います。
主な投資制限	・単一国の証券への投資は、純資産総額の20％を超えないものとします。 ・単一発行体の証券への投資は、純資産総額の10％を超えないものとします。ただし、現地通貨建ての国債、政府保証債は除きます。 ・クレジットリンク債への投資は、純資産総額の20％を超えないものとします。 ・発行体格付けにおいて、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクまたはＳ＆Ｐグローバル・レーティングのソブリン信用格付けがＣａａ１またはＣＣＣ＋以下の証券または無格付けの証券への投資は、純資産総額の10％を超えないものとします。 ・ファンドにおける証券の平均信用格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクまたはＳ＆Ｐグローバル・レーティングの格付けにおいてＢ１またはＢ＋以上とします。 ・ファンドにおける証券の平均デュレーションは、８年以下とします。
信託期間	150年（2006年３月８日設定）
決算日	毎年５月31日
信託報酬等	運用報酬：純資産総額に対し0.40％ その他報酬※：純資産総額に対し0.15％（上限） ※その他報酬には、受託会社報酬、管理事務代行会社報酬、保管受託銀行報酬、監査報酬、法的費用が含まれます。
関係法人	受託会社兼管理事務代行会社：ＢＮＹ メロン ファンド マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ バンク オブ ニューヨーク メロン シンガポール支店 保管受託銀行：ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 管理会社：フランクリン テンプルトン インターナショナル サービシーズ エス エー アール エル 投資顧問会社：フランクリン テンプルトン インベストメント マネジメント リミテッド

(1) 投資ポートフォリオ（無監査）

2018年５月31日終了会計年度

	公正価値 2018年 (日本円)
債券	
アンゴラ	
Angolan Government International Bond 9.50% due 12/11/2025 REGS	1,101,270,519
アンゴラ合計	1,101,270,519
アルゼンチン	
Provincia De Tierra Del Fuego Argentina 8.95% due 17/04/2027 REGS	558,060,753
Provincia Del Chubut Argentina 7.75% due 26/07/2026 REGS	371,043,510
Republic of Argentina 5.875% due 11/01/2028	362,411,306
アルゼンチン合計	1,291,515,569
アルメニア	
Republic of Armenia International Bond 7.15% due 26/03/2025 REGS	785,937,974
アルメニア合計	785,937,974
アゼルバイジャン	
International Bank of Azerbaijan Ojsc 5.625% due 11/06/2019 REGS	535,248,042
Southern Gas Corridor 6.875% due 24/03/2026 REGS	383,427,376
アゼルバイジャン合計	918,675,418
ベラルーシ	
Republic of Belarus International Bond 6.20% due 28/02/2030 REGS	118,592,053
ベラルーシ合計	118,592,053
ボスニア・ヘルツェゴビナ	
Bosnia and Herzegovina due 20/12/2021 REGS	634,645,076
ボスニア・ヘルツェゴビナ合計	634,645,076
ブラジル	
Brazil Republic of 2.625% due 05/01/2023	436,523,834
Caixa Economica Federal 4.25% due 13/05/2019 REGS	420,522,193
Rio Oil Finance Trust Series 2018-1 8.20% due 06/04/2028 REGS	169,438,098
ブラジル合計	1,026,484,125
カメルーン	
Republic of Cameroon International Bond 9.50% due 19/11/2025 REGS	573,665,713
カメルーン合計	573,665,713
中国	
CNAC HK Finbridge Co Ltd 4.875% due 14/03/2025 REGS	584,116,899
中国合計	584,116,899
コロンビア	
Bogota Distrito Capital 9.75% due 26/07/2028 REGS	581,061,038
Ecopetrol SA 4.125% due 16/01/2025	303,221,382
Empresa De Telecomunicaciones De Bogota SA 7.00% due 17/01/2023 REGS	400,986,440
Republic of Colombia 4.375% due 12/07/2021	292,794,837
コロンビア合計	1,578,063,697

	公正価値 2018年 (日本円)
ドミニカ共和国	
Dominican Republic 8.90% due 15/02/2023 REGS	302,965,804
Mestenio Ltd 8.50% due 02/01/2020 REGS	91,087,662
ドミニカ共和国合計	394,053,466
エジプト	
Egypt Government Bond 16.40% due 05/09/2020	55,955,249
Egypt Government Bond 18.15% due 13/06/2020	177,436,457
エジプト合計	233,391,706
エルサルバドル	
Republic of El Salvador 7.65% due 15/06/2035	482,184,563
エルサルバドル合計	482,184,563
エチオピア	
Federal Democratic Republic of Ethiopia 6.625% due 11/12/2024 REGS	536,752,709
エチオピア合計	536,752,709
ガボン	
Republic of Gabon 6.95% due 16/06/2025 REGS	476,208,190
ガボン合計	476,208,190
ジョージア	
Georgian Oil & Gas Corp 6.75% due 26/04/2021 REGS	299,914,572
Georgian Railway LLC 7.75% due 11/07/2022	140,404,816
ジョージア合計	440,319,388
ガーナ	
Ghana Government International Bond 8.125% due 18/01/2026 REGS	236,748,990
Ghana Govt 18.25% due 25/07/2022	719,041,623
Ghana Govt 24.75% due 19/07/2021	118,378,187
Saderea DAC 12.50% due 30/11/2026 REGS	100,738,921
ガーナ合計	1,174,907,721
インドネシア	
Indonesia Republic of 3.375% due 15/04/2023 REGS	691,171,970
インドネシア合計	691,171,970
イラク	
Oilflow SPV 1 DAC (Krg) 12.00% due 13/01/2022 REGS	196,824,873
Republic of Iraq 5.80% due 15/01/2028 REGS	311,279,273
イラク合計	508,104,146
ジャマイカ	
Government of Jamaica 7.875% due 28/07/2045	402,317,233
ジャマイカ合計	402,317,233
ヨルダン	
Jordan Kingdom 6.125% due 29/01/2026 REGS	438,051,760
ヨルダン合計	438,051,760

	公正価値 2018年 (日本円)
カザフスタン	
Astana Finance JSC 0% due 22/12/2024 REGS	856,543
Development Bank of Kazakhstan JSC 9.50% due 14/12/2020 REGS	183,162,974
Kazakhstan Government International Bond 4.875% due 14/10/2044 REGS	454,509,535
Kazakhstan Temir Zholy National Co JSC 4.85% due 17/11/2027 REGS	224,127,049
Kazakhstan Temir Zholy Finance Bv 6.95% due 10/07/2042 REGS	216,984,171
カザフスタン合計	1,079,640,272
ケニア	
Kenya Government International Bond 6.875% due 24/06/2024 REGS	261,403,467
Kenya Infrastructure Bond 11.00% due 15/09/2025	313,963,370
Kenya Infrastructure Bond 12.50% due 12/05/2025	302,899,692
Kenya Infrastructure Bond 12.50% due 10/01/2033	17,354,804
ケニア合計	895,621,333
メキシコ	
Mexican Fixed Rate Bonds 5.00% due 11/12/2019	914,250,451
Mexican Udibonos 4.50% due 04/12/2025 Index Linked To Mxudi	88,927,571
Mexico City Airport Trust 4.25% due 31/10/2026 REGS	202,656,597
Mexico City Airport Trust 5.50% due 31/07/2047 REGS	112,095,738
メキシコ合計	1,317,930,357
モザンビーク	
Mozambique International Bond 10.50% due 18/01/2023 REGS	339,121,321
モザンビーク合計	339,121,321
ペルー	
Iirsa Norte Finance Ltd 8.75% due 30/05/2024 REGS	188,240,445
Lima Metro Line 2 Finance Ltd 5.875% due 05/07/2034 REGS	553,959,361
Peruvian Government International Bond 6.35% due 12/08/2028 REGS	414,818,481
ペルー合計	1,157,018,287
ロシア	
Russia Govt Bond - Ofz 7.00% due 16/08/2023	297,832,008
Rzd Capital PLC (Russian Railways) 5.70% due 05/04/2022 REGS	423,568,556
ロシア合計	721,400,564
南アフリカ	
South Africa Republic of 4.30% due 12/10/2028	581,270,029
South Africa Republic of 7.00% due 28/02/2031	1,286,763,778
南アフリカ合計	1,868,033,807
スリランカ	
National Savings Bank 8.875% due 18/09/2018 REGS	245,883,634
スリランカ合計	245,883,634
国際機関	
Banque Ouest Africaine De Developpement 5.00% due 27/07/2027 REGS	321,874,094
European Bank For Reconstruction & Development Frn due 21/02/2019	132,440,333
International Finance Corp 10.25% due 05/12/2018	82,486,770
国際機関合計	536,801,197
スリナム	
Republic of Suriname 9.00% due 28/06/2019	162,840,460
Suriname, Republic of 9.25% due 26/10/2026 REGS	219,450,148
スリナム合計	382,290,608

	公正価値 2018年 (日本円)
トリニダード・トバゴ	
Petro Co Trin/Tobago Ltd 9.75% due 14/08/2019 REGS	790,432,803
トリニダード・トバゴ合計	790,432,803
チュニジア	
Banque Cent de Tunisie International Bond 5.75% due 30/01/2025 REGS	723,654,978
チュニジア合計	723,654,978
トルコ	
Export Credit Bank of Turkey 6.125% due 03/05/2024 REGS	323,744,915
Turkey Government Bond 8.70% due 11/07/2018	782,542,486
Turkey Republic of 4.875% due 16/04/2043	583,625,571
トルコ合計	1,689,912,972
ウガンダ	
Republic of Uganda Government Bonds 13.75% due 13/06/2019	221,263,595
Republic of Uganda Government Bonds 14.625% due 01/11/2018	5,685,024
ウガンダ合計	226,948,619
ウクライナ	
City of Kyiv (CSFB) 8.00% due 06/11/2015	502,009,597
Ukraine Government 7.375% due 25/09/2032 REGS	608,797,135
ウクライナ合計	1,110,806,732
ウルグアイ	
Uruguay Republic of 3.70% due 26/06/2037 Index Linked	989,454,764
ウルグアイ合計	989,454,764
債券合計	28,465,382,143
原油ワラント	
ナイジェリア	
Nigeria Central Bank of WRD Exp 15/11/2020 REGS	936,765,666
ナイジェリア合計	936,765,666
ベネズエラ	
Venezuela Republic of WRD Exp 15/04/2020	116,784,160
ベネズエラ合計	116,784,160
原油ワラント合計	1,053,549,826
投資ポートフォリオ	29,518,931,969

（FRN）変動利付債です。※
（Index Linked）インフレ連動債です。※
（REGS）Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。※

※はアセットマネジメントOneにて追記

(2) 損益計算書等

1．包括利益計算書

2018年５月31日に終了した会計年度

	2018年 (日本円)
収益	
受取配当金	630,851,953
受取利息	18,618,694
その他の収益	4,025,495
為替差損純額	(194,917,438)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る公正価値の純変動額	122,954,622
純収益合計	581,533,326
費用	
運用報酬	108,465,336
受託会社報酬および管理事務代行会社報酬	27,971,291
保管受託銀行報酬	11,915,116
費用の払戻し	(2,828,809)
監査報酬	5,993,452
その他の営業費用	559,821
営業費用合計	152,076,207
税引前利益	429,457,119
源泉税	(17,426,291)
運用による受益証券保有者に帰属する純資産の増加額	412,030,828

2．財政状態計算書

2018年５月31日現在

	2018年 (日本円)
資産	
流動資産	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	29,518,931,969
現金および現金同等物	2,293,049,447
その他の債権	2,828,809
資産合計	31,814,810,225
負債	
流動負債	
ブローカーに対する債務	430,952,768
未払費用	36,512,893
負債合計	467,465,661
受益証券保有者に帰属する純資産	31,347,344,564

（ザ バンク オブ ニューヨーク メロン シンガポール支店提供の監査財務書類より作成しております。）

マネー・マーケット・マザーファンド

第13期　運用報告書

（決算日　2018年９月18日）

『**マネー・マーケット・マザーファンド**』は、去る2018年９月18日に第13期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限とします。
運用方針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近３期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
11期（2016年９月15日）	10,197	0.05	81.3	－	123
12期（2017年９月15日）	10,192	△0.05	－	－	123
13期（2018年９月18日）	10,184	△0.08	－	－	123

※△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。
※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準（目標基準）となる指標をいい、約款または投資信託説明書（目論見書）において、その旨の記載があるものを指します。

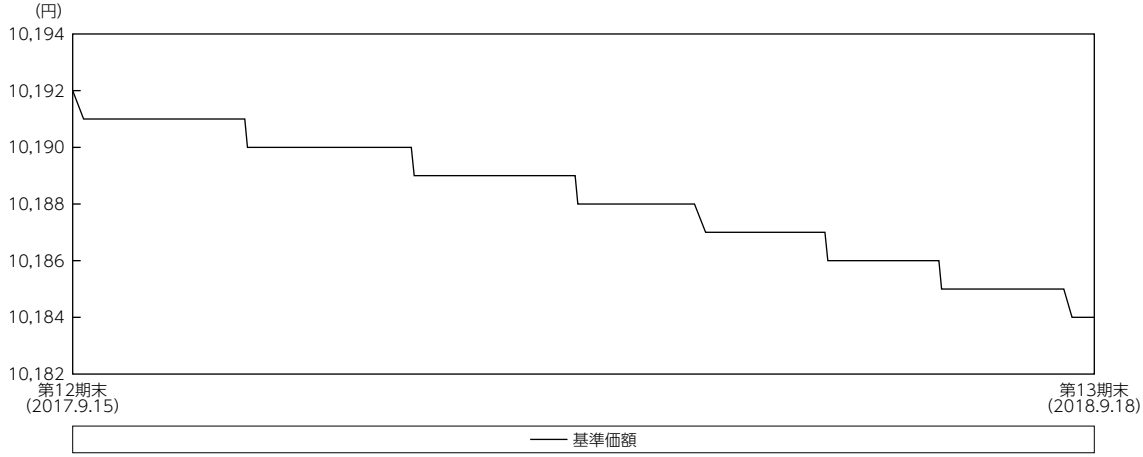
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
（期首）	円	%	%	%
2017年９月15日	10,192	－	－	－
９月末	10,191	△0.01	－	－
10月末	10,191	△0.01	－	－
11月末	10,190	△0.02	－	－
12月末	10,190	△0.02	－	－
2018年１月末	10,189	△0.03	－	－
２月末	10,189	△0.03	－	－
３月末	10,188	△0.04	－	－
４月末	10,188	△0.04	－	－
５月末	10,187	△0.05	－	－
６月末	10,186	△0.06	－	－
７月末	10,185	△0.07	－	－
８月末	10,185	△0.07	－	－
（期末）				
2018年９月18日	10,184	△0.08	－	－

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,192円から、10,184円に８円の値下がりとなりました。

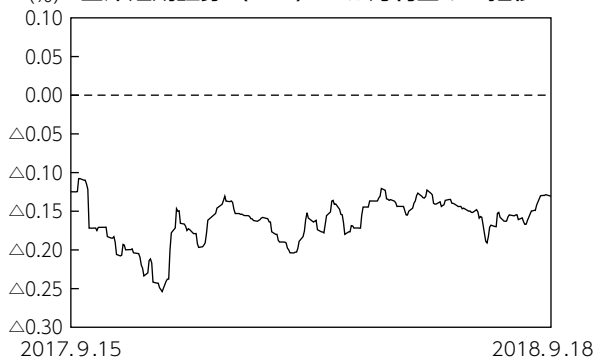
投資環境

●国内債券市場

当期間の残存１年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。日銀は黒田総裁の第２期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けています。また、2018年７月の日銀政策決定会合において、長期金利を０％程度に誘導する目標自体は維持しつつ、変動幅の上限を0.2％程度まで容認する金融政策の調整を行いました。発表直後は、一時的にボラティリティが高まる場面もありましたが、イールドカーブは全体的に狭いレンジでの動きに留まっています。

一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、０％前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

ポートフォリオについて

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いましたが、ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み入れはありません。

ベンチマークとの差異について

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

よって、グラフは掲載しておりません。

今後の運用方針

引き続き残存１年以内の公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○１万口当たりの費用明細 （2017年９月16日～2018年９月18日）

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況 （2017年９月16日～2018年９月18日）

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等 （2017年９月16日～2018年９月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細 （2018年９月18日現在）

2018年９月18日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成 （2018年９月18日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	123,143	100.0
投資信託財産総額	123,143	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年9月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	**123,143,938円**
コール・ローン等	123,143,938
(B) 負債	**281**
未払利息	281
(C) 純資産総額(A-B)	**123,143,657**
元本	120,915,179
次期繰越損益金	2,228,478
(D) 受益権総口数	**120,915,179口**
1万口当たり基準価額(C/D)	**10,184円**

○損益の状況 (2017年9月16日～2018年9月18日)

項目	当期
(A) 受取利息等収益	**△ 87,228円**
支払利息	△ 87,228
(B) 当期利益(A)	**△ 87,228**
(C) 前期繰越損益金	**2,315,706**
(D) 計 (B+C)	**2,228,478**
次期繰越損益金(D)	**2,228,478**

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	120,915,179円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	－円
期末元本の内訳	
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	98,705,927円
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年１回決算型）	490,794円
リアル・インド株式ファンド（３ヵ月決算型）	21,669,390円
グローバル・フォーカス（毎月決算型）	49,068円
合計	120,915,179円